



令和元年度 離任される先生方から 伊高生へのメッセージ



<p>榎田 俊光 校長先生 お世話になった伊高に深く感謝し、最後に問題です。○に入る言葉を答えよ。「ありがと」の数だけ賢くなり、ごめんなさいの数だけ優しくなり、○○○○の数だけ愛を知る」と語る映画監督の大林宣彦氏が、平成14年大分県臼杵市を舞台に映画化した『なごり雪』は、昭和49年3月発表の伊勢正三さんの歌「なごり雪」がもとになっている。その歌詞の中でも「～♪君の唇が○○○○と動くことが怖くて下を向いてた♪～」</p>		<p>冨吉 春実 先生 (国語) あつという間の7年間でした。素直で礼儀正しい生徒たちに恵まれて、本当に楽しい7年間でした。この日置地域の穏やかでおおらかな雰囲気、伊集院の生徒たちを育むのだなあ実感しました。これからも品格のある伊集院を生徒みんなで引き継いでほしいと思っています。</p>		<p>北 玲奈 先生 (国語) 伊集院高校で過ごした8年間のうちで7年間担任をすることができたのが、私の最大の思い出です。素直でかわいくてたまらない生徒たち、温かく愉快的な先生方、気さくで理解ある保護者の皆様、素敵の方々に囲まれた8年間は、私にとってかけがえのないものになりました。今後も別の場所から伊集院高校を応援しています。伊集院校、大好き！</p>		<p>藤崎 公晴 先生 (地歴公民) 「すぐ役に立つことは、すぐに役に立たなくなる」高校生活は3年と有限であり、すぐに結果が出なくても焦ることはない。後悔しながら悶々とした試行錯誤の時間も将来の自分のためには必要だと思う。「継続は力なり」でコツコツと頑張ってください。</p>		<p>岩元 健一郎 先生 (地歴公民) 伊集院高校の8年間、大好きな倫理(世界史)とテニスに関わらせてもらい、また大学院派遣、育休まで取らせてもらいました。私にとって伊集院は「再生」の地です。十分な恩返しができなかったが、感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんも自分が本当にやりたいことは何かを見極め、思い切って挑戦してください。これからも伊集院高校の皆さんの健闘を祈り続けます。</p>	
<p>冨松 一 先生 (地歴公民) 7年はあつという間でした。君たちも残り1～2年の本当に貴重な時間を大切に過ごして下さい。また、いろいろな場所で会うこともあると思いますので、その時には近況報告などしてもらえると嬉しいです。では、保護者の方や先輩などにもよろしくお伝えください。ありがとうございました。</p>		<p>西元 晃一郎 先生 (数学) 8年間お世話になりました。伊集院高校では、人間関係にとても恵まれていました。素直な生徒、協力してくださる保護者、そして先生方。人とのつながりはとても大切です。自分も周りも幸せにできる人になってほしいと思います。そのためには、「感謝」の思いを常に持つこと。「出会い」を大切にすること。成長したみなさんと会えることを楽しみにして、私も次の学校で頑張ります。</p>		<p>寺園 隆志 先生 (理科) 必然の出会い 無限に広がる大宇宙。光の速度でも、宇宙の果てまで百五十億年かかります。その凄まじく大きい宇宙の、ちっぽけな銀河系の、ちっぽけな太陽系の、ちっぽけな地球の、小さな日本の南端の鹿児島島の伊集院高校で、この時代に、出会えたのは偶然を通り越した必然。この出会いを大切に、チーム伊高でこれからも邁進して下さい。</p>		<p>石坂 由夏 先生 (理科) 私の今の気持ちは「無念」です。4月になるとプールの掃除、水温20℃ギリギリの中での練習。「寒い、寒い」と嘆く部員に叱咤激励。プール横のソメイヨシノの花吹雪に写真を撮り、伊高の春を満喫。今年もそうであろうと願っていたけれど。生徒・保護者の皆様、大変お世話になりました。今後は陰ながら子供たちの活躍を応援しています。ありがとうございました。</p>		<p>佐々木 貞明 先生 (保健体育) 『艱難汝を玉にす』 『疾風に勁草を知る』 意味は調べてください。 きついことやつらいこと、困難、試練、苦勞に打ち勝って、成長することを期待します。</p>	
<p>藏元 昭二 先生 (英語) 先輩方が築かれてきた伊集院高校の伝統に感謝しながら、その一員として大小にかかわらず社会の歯車となって世に貢献できる人物を目指してください。そのためには、今一度日々の生活を振り返り、ごくごく当たり前のことを確実に果たす努力を積み重ねていきましょう。自ずと道は開けていくはずです。グッドラック！</p>		<p>大倉 秀心 先生 (英語) 2年間お世話になりました。年度末の締めくくりの授業を十分にできないまま、2年生と別れなければならないのがとても心苦しいです。来年度も英語の授業で君たちを鍛えたかったのですが残念です。3年次も今まで以上に授業を通して「思考を深める」姿勢を貫いてほしい。日本語と英語に格闘しながら成長してください。</p>		<p>根釜 龍一 先生 (英語) 伊集院高校の生徒は素直で明るく、門礼や挨拶等がしっかりできる素晴らしい集団です。更に素晴らしい集団になるためには、学校で指導されていることをしっかりと守るだけではなく、「高校生として、今、何をすべきか」を一人一人がしっかりと考えて行動する必要があると思います。お互い、更に成長して再会しましょう。</p>		<p>山口 瑞代 先生 (司書) この度、退職することになりました。伊高で皆さんと過ごした日々は、とても思い出深いものとなりました。「楽しみ」を多く持つ人は、幸せに生きられるそうです。一人でも、大人になってもできる「読書」を、「楽しみ」の一つに加え、心豊かな人生を送ってほしいです。 またどこかで会える日を楽しみにしています。ありがとうございました。</p>		<p>中馬 尋乃 先生 (英語)</p>	

